

《論点》

1 オール大阪での迅速かつ継続的な体制整備

**(1) 大阪版「接種完了目標」の設定**

- 接種を希望する府民への接種を10月までに完了できないか
- 各市町村において、目標実施に向けたスケジュール等を策定できないか

**(2) 各市町村の取組状況の共有と公表**

- 各市町村の取り組みと進捗状況を府ホームページなどで公表し、府民と共有できないか

**(3) 接種に必要な医療従事者の確保**

- 医療従事者の確保に向けて、各団体からの協力をお願いできないか

## 2 効率的なワクチン接種に向けた工夫

### (4) 高齢者施設従事者への優先的接種

- クラスター対策として、府内高齢者施設においては、高齢者と同じタイミングで従事者にも接種をめざせないか

### (5) 住所地外での接種体制の整備

- 柔軟な接種体制整備に向けて国への要望と、実施にむけた検討を市町村とともに進めていけないか

### (6) ワクチンのロスを抑える仕組み

- 集団接種会場などでのキャンセル時に、エッセンシャルワーカーなどが接種できる仕組みを市町村とともに検討できないか

### (7) 府有施設の提供

- 市町村からの要望に応じて、府有施設の一般利用を停止し、ワクチン接種会場としての提供を検討

### (8) 効率的な実施方法の共有

- ワクチンの小分け配送やLINE予約システムなど、府先行接種方法や市町村の先進事例を市町村WGなどで共有